

「人間の生き方について考えを深めること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第3学年 道徳科学習指導案

1 主題名「何が残せるだろう」(内容項目：D-22 よりよく生きる喜び)

2 教材名「中村 哲」(自作教材等)

3 主題設定の理由

中学校の段階では、学年が上がるにつれて、崇高な人生を送りたいという人間のもつ気高さを追い求める心が強くなる。義務教育修了まで5か月となった中学校第3学年には、現実の厳しさや自己の弱さを理解しながら、それに負けることなく、人間のもつ気高さを追い求めてほしいと強く願っている。

生徒は、これまでの同内容項目に係る学習を通して、自己の弱さや醜さと強さや気高さは表裏であることについて考えた。

アフガニスタンで砂漠を緑に変えた中村哲氏の生き方は、同内容項目を具現化し、その生き方に憧れ、感化させるものである。人間がもつ強さや気高さについて十分に理解し、先人の気高い生き方などから、誇りある生き方、喜びのある生き方について考えるとともに、後輩達に残したいものについて考えさせたい。

4 本時のねらい

中村哲さんの生き方を通して、人間がもつ強さや気高く生きようとする心を感じ、人間として生きることの喜びを見いだす道徳的心情を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 中村哲氏の功績について、動画等の複数の資料から、人間がもつ強さや気高さについて、自分事として考える。
- ② 自己満足ではなく、崇高な人生を目指し、同じ人間として共に生きていくことへの喜びが感じられるよう、発問や展開を工夫する。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p>1 テーマをつかむ。</p> <p>○「事前アンケート『後輩に残したいものランキング』の結果から、どんなことを考えましたか？」</p> <p>・学校全体として、仲のよい雰囲気があるので、引き継いでほしいと思う。</p> <p>・学校行事等の伝統を継続して行ってほしいと思う。</p>	内容項目について、卒業に係る第3学年の生徒の思いと重ねることを通じて、身近なものとしてとらえられるよう、配慮する。
	<p>2 内村鑑三『後世への最大遺物』から、自分たちが後世に残せるものについて、考える。</p> <p>○「自分たちが、後世に残せる最も価値のあるものは何でしょうか？」</p>	内村鑑三の問いをきっかけにして、財産等、物質的なものではない価値あるものについて、焦点化して考えさせる。

<p>展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動をしているので、音楽を残したい。 ・自分には、何が残せるのかわからない。 <p>3 中村哲氏の功績の紹介から、中村氏が後世に残したものについて、考える。</p> <p>○「中村哲氏が残したものは、何でしょうか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路や水、食べ物等の、地元の人が困らないためのもの。 ・地元の人々の未来や生きることに對する希望。 <p>4 中村哲氏の生き方を通して、自身の生き方について、考えを深める。</p> <p>○「中村哲氏の生き方を通して、自身の生き方について、どのようなことを考えましたか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村さんの生き方から、自分が後輩達に先輩としての振舞いや物事に打ち込む姿を示して、卒業したいと考えた。 ・物質的なものではなく、生き方や考え方が後世に残るよう、生きていきたいと考えた。 <p>○「自身の生き方について考えたことを、友人と交流しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のためだけではなく、他者のために生きることが大切だと考えた。 ・何かに挑戦する際、辛いことも多くあるが、楽しみながら、努力することが重要だと思った。 	<p>中村哲氏を主題とした楽曲の歌詞の音読・動画の視聴を通じて、中村哲氏の努力や困難、功績及び地元の人々の思いについて、理解を深める。</p> <p>中村哲氏の生き方を通して、考えが深まった点を言語化するとともに、他者の考えと比較することを通じて、道徳的価値について考えを深めさせる。</p>
<p>終 末</p>	<p>5 教師の説話をする。</p> <p>○先輩教員が遺してくれたものについて</p> <p>○中学校第3学年として、学校に何が残せるのかについて</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>○本日の学習の感想を記入し、交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村さんの生き方を通して、他者と共に喜び合える生き方が大切であることを理解することができた。 ・後輩達に何を残したいかを考え、残りの中学校生活を過ごしていきたいと考えた。 	<p>説話を通して、道徳的価値の焦点化を図り、よりよく生きることとはどういうことなのかについて、深く考えさせる。</p> <p>評 中村哲氏の生き方を通して、自身の生き方について考えを深めている。 (ワークシート、発表)</p>